

## 第2回太子町地域公共交通検討委員会 会議概要

日 時：平成29年8月30日（水） 14時00分～16時00分

場 所：太子町役場4階 全員協議会室

### 議 題

- (1) 太子町の交通に関するアンケート（案）について
- (2) 路線バスのご利用状況アンケート（案）について
- (3) 観光状況のアンケート（案）について
- (4) その他

### (1) 太子町の交通に関するアンケート（案）について

(資料1に基づき、事務局より説明)

委 員	アンケートの対象者の1000通の内訳はどのようになっているのか
事務局	アンケート対象者は大字（春日、山田、畑、葉室、太子、聖和台）のそれぞれの人口の割合で、アンケートの送付数である1000人を按分し、大字ごとに無作為で抽出するので、大字ごとに約7.4%の方に送付することとなる。年齢については特に年齢層等で分けず、無作為での抽出となる。
委 員	年齢ごとに何%という形では分けないのか。
事務局	現在考えている抽出方法では、年齢層では分けない。
委 員	年齢層で分けないと、ある年齢層に固まる可能性があり、きちんとしたニーズ把握ができないのではないか。また、1000件送付という形ではなく、1000件回収という形にしないと、広くニーズを把握できないのではないか。
事務局	今回のアンケートについては、方針を出すために行うアンケートであり、町の基本的な方針を策定するもの。第5次総合計画において実施したアンケートについても送付数を1000件としているため、今回のアンケートについても1000件の送付で実施しようと考えている。 方針が決まり具体的な交通方策に対するアンケートとなれば、住民のニ

ーズについて、細かい意見を把握しなければならないため、その時は改めて考える必要があると考えている。

総合計画のアンケートの際にも約 50%の回収率があったが、今回のアンケートについても、1000 件送付でデータが取れるくらいの回収率はあると考えている。また、アンケートについても、この 1 回で終わるというものではなく、今後も必要に応じて行うこととなることをご理解いただきたい。

会 長 年齢層が偏る可能性は確かにありうるため、年齢構成を考慮して、事務局で考えることはできないか。

事務局 もう一度検討し、年齢構成を考慮した抽出を行うようにする。

委 員 基本計画を策定するにしても、全住民の移動実態を正確に把握しないと、しっかりとした基本計画を立てることができるのか不安。基本計画を策定するにしても、地域公共交通網形成計画を策定するにしても、全住民がどのような移動をしているのかきっちり把握することで空のバスを走らせることはなくなると考える。今後、網計画を策定する際に具体的な調査をするということなので、今回は仕方がないと思うが、今言ったように今回のアンケートに対して危惧しているということは理解いただきたい。

事務局 路線バスのバス停に近い地区やそうでない地区等町の中でも様々な環境の地区があるため、基本計画で方向性が出て、具体的に考えていく段階になれば、町全体のアンケートではなく、地区を絞ったアンケートも考えられるため、それも含めて検討していきたいと思うが、今回は現状の案で進めさせてもらいたい。

委 員 今回のアンケートは路線バスも含めて、公共交通がどのように利用されているのかを把握するために行い、地域公共交通網形成計画策定時には具体的なことについてアンケートを行うという理解でよいか。

事務局 そういう形で理解いただければと思う。

会 長 河南町でも地区によってあり方を考えているため、太子町ではどういう分け方がいいのかということも考えていく必要があると思う。

副会長 大枠の方針は最初に立てる必要があると考えるし、そのため、アンケートで

大まかに把握をしておいた方がいい。そして、計画を策定するとき、町が町域を超えて駅まで行くことが必要なのか、そもそも今の枠組みの中で考えていくことが可能なのかどうか、その後の検討の中で、ルートはどうすればいいのか、バス停はどうすればいいのか等の細かいことが決まってくる。そう考えると、今回のアンケートはこのくらいのボリュームでいいと考える。最初に細かくしすぎると、後で身動きが取れなくなってしまうと思う。

(2) 路線バスのご利用状況アンケート (案) について

(3) 観光状況のアンケート (案) について

(資料2・3に基づき、事務局より説明)

- 会 長 太子町の路線バスの利用状況はどのようになっているか。
- 委 員 年々減っている。  
今年4月に富田林でダイヤ改正をしたが上ノ太子駅についても、電車とバスがつながるように調査等をしながら進めたい。
- 会 長 学生のバスの利用は多いのか。
- 委 員 上宮太子高校の学生の利用はある。
- 会 長 観光の関係についてはいかがか。
- 委 員 観光協会では現在、上ノ太子駅に観光案内所を設けているが、徒歩が多い。できれば観光名所まで行ける手段も含めて考えていただきたいところ。
- 会 長 確かに、観光にもつながるように手段を考えることができればそれが一番だと思う。
- 副会長 バス利用者の調査だが、上ノ太子駅と喜志駅の2か所で行うのか。
- 事務局 上ノ太子駅と喜志駅の2か所で2日間行う予定である。
- 副会長 2か所とも駅での調査をするのは、バス停からバス停の町内移動はあまりないという考えからか。駅からではなくて、バス停からバス停で降りる人はあまりいないと理解していて良いか。

太子町にお住まいの方のバスの乗り方にもよると思うが、通勤や通学は2ヶ所の駅を利用することがメインだと思う。

この調査方法では、バス停からバス停を利用する人の動きや、高齢者の方や、買い物、通院する人の動きを調査することは一般的に考えて難しいのではないと思う。

事務局

調査場所については、再度、検討させていただく。

会 長

役場までの移動手段については、あまりバスを利用していないイメージがあるが、昼間に利用される方は、駅かサンプラザに買い物に行くときにバスは利用されている。

副会長

町内のサンプラザに一番近いバス停を一日おさえて調査してみると良いかもしれない。

委 員

ちなみに、現在、太子町の予約型乗り合いワゴンは、登録されている方は何名くらいか。

委 員

今年の4月現在では、423人が登録されている。高齢者の65歳以上の4580人のうち9.2%が登録していることとなる。

副会長

65歳未満の人で、予約型乗り合いワゴンに乗りたいという人はいないのか。

委 員

要望としてはある。同伴の方が65歳未満であったり、子育て中の親子連れや障害をお持ちの方などから声は聞いている。

副会長

年齢制限を外して64歳までの人で、予約型乗り合いワゴンに乗りたい人は何人ぐらいいるのか聞いてみるのも一つの方法だと思う。

乗りたい人がいるということならば、この乗り合いワゴンで設定しているルートは意味があるということが確認できるのかなと思う。

会 長

金剛バスが走ってるルートと重ならないように、できるだけバス停をつなげいけるように考えていきたいと考えている。

副会長

昔、河南町でも高齢者を対象にバスを走らせていたが、それをやめて一般の方も乗れるようにして、役場か目的地でしか降りられなかったのを、途中の

バス停でも降りられるようにしたところ利用者が増えたので、アンケートで自由に乗りたい人が多ければ町内を巡回していることにもつながると思うので、興味がある質問かなと思う。

会長 64 歳以下の利用意向を加えるのかどうかに関しては、すぐに答えは出せない  
ので、検討させていただきたいと思う。

副会長 発送はいつごろか。

事務局 発送については、本日いただいた意見もふまえて、9 月の中頃ぐらいには発  
送したいと思う。調査期間については、2 週間程度で回答が返ってくる予定  
で考えており、返ってきた結果の分析統合をふまえて、10 月末か 11 月の初旬  
には、第 3 回目の会議にアンケート結果をご提示できればと思っている。

副会長 事務局からその他に何か連絡事項はないか。

事務局 本日は、アンケートに対してのご意見をいただくということのみであり、ア  
ンケートの発送の時期と合わせて、次回のスケジュールについても申し上げ  
たため、事務局の方からは特はない。

会 長 少し時間があるので、他にご意見はないか。

委 員 第 1 回目では、会議内容についてホームページに掲載するという話になって  
いて掲載されるのを待っていたが掲載されておらず、第 2 回目では資料が送  
られてきたが少し遅いのではないか。せめて 2 週間以内には会議内容を教え  
ていただきたいと思う。

事務局 手続きなどもあるが、早急にホームページに載せられるように対応してい  
きたい。それと付け加えて広報でも特集を組むとか、別でチラシを配布するな  
どの方法も考えている。アンケートの結果については、出来るだけ住民の方  
に周知してもらえるようにしていきたいと思う。

会 長 会議の中だけでなく、住民の方にも発信できるようなかたちで頑張ってい  
きたいと思っているので、また力添えを宜しくお願いしておく。

- 委員 予約型の乗り合いワゴンで時間を区切っているが、予約が入ればこの時間帯に動いているのか。
- 委員 事務局より説明があったが1日7便、毎時0分に役場を出発し、9時から14時の間で、13時のみ無し。予約がある方の停留所を結んで行くので、毎日同じルートでは決まっていない。
- 委員 例えば、裏面に停留所1番から58番までであるが、1時間以内で走行するルートを組むということか。
- 委員 乗り合いワゴンの定員が8人までなので、基本的に1時間の範囲以内で多く乗車されても7、8人なので、多くても7～8か所の停留所を1時間ぐらいで運行している。
- 委員 だいたい1時間でまわって、予約がなければ運行しないということか。
- 委員 そのとおり。
- 委員 行政の委員の方で全国的にみた先進的な公共交通の例などを情報提供していただきたい。
- 委員 情報提供はできるだけ事務局をとおして出していきたいと思う。
- 委員 太子町にぴったり当てはまる事例はなかなかない。地形等を考えて提供していけたらと思う。
- 委員 地域公共交通についての法的な整備状況は直近でどうなっているか。
- 委員 この協議会を立ち上げられ、今後法定協議会へされた上で形成計画を策定するということが、全国で300ほど策定していただいている。太子町もこのような活発な議論をとおして策定していただけたら大変いいと思う。
- 委員 どういう法か教えて頂きたい。
- 委員 一般的には「地域公共交通の活性化再生法」と呼ばれている。

- 委 員 羽曳野市と太子町の境で松本橋に歩行者用の通路を作っていただきたい。  
雨の日が危険なので仮設でもよいのでお願いします。
- 委 員 確認させて頂く。
- 副会長 太子町に問わず「近鉄線」の利用者の推移を一度調べて頂きたい。近隣地域  
の中で太子町だけで交通の利用数が減っているのか、全体的に減っているの  
かその辺も資料として出しておいたほうがいいのではないかと。  
ごく一般的に全体が下がっている中での下がり方をマクロで見ておかないと  
いけないのではないかと思う。他の委員さんにも確認頂いた方がいいのでは  
ないか。
- 会 長 たしかに南河内郡でいくと全体的には人口減少していて、その中でも太子町  
はまだ緩やかな減少傾向ではある。その辺も考慮していかないといけない。
- 副会長 大阪市内の地下鉄も朝の中心部の利用者の変移がみられるので、今後議論を  
される上で役立つことと思う。
- 会 長 では以上で委員会を終了する。アンケート調査の結果ができれば踏み込んだ議  
論になっていくと思うので、それぞれの分野、立場で活発なご意見をいただ  
ければと思う。